

# 私の珍品コレクション

片山 晴史

今回、皆さんにコレクションを見ていただく機会に、ただクリアファイルに突っ込んで保存していただけのカバー類を見直し、「私の」珍品コレクションをリーフにまとめてみました。「私の」の意味は「私のひとりよがりの」を短縮したものです。私の見解に多くのダメ出しを頂くことを期待しています。それでは「私のひとりよがりの珍品コレクション」からいくつかご紹介します。



アメリカ同時多発テロ関連便 (図1)

このカバーは、実際に郵便として差し出されていないので、価値があるのか不明ですが、付箋には、あの 9.11 テロの痕跡がしっかり記録されており、郵便史にこの時の局の対応は記録されるべきと考えます。



国内航空便開始記念カバー (図2)

1929年（昭和4年）に国内航空郵便を開始した記念カバーです。開始時には、切手が発行されていませんが、同年10月に初の航空切手「芦ノ湖航空」が誕生しています。

京都局留めで送られた郵趣家便ですが、どれだけ制作されたのでしょうか。特印の機体は芦ノ湖航空のフォッカー7型3Mなもの気に入っています。このカバーの受取人「前田 晃」氏は渡辺版FDCの創始者なのも珍品扱いにする所以です。

## 私の珍品コレクション

第18回東京オリンピック寄付金付1次3種ほか  
1961年発行切手貼り実遞カバー

1961年12月11日岩手県久慈市から米国コロラド州へ差し出されたカバーです。  
同年10月以降に発行されている、第16回国体2種、花切手シリーズさざんかに加え、  
第18回東京オリンピック寄付金付切手1次3種が貼られたカバーです。  
この寄付金付切手の発行年使用済みは、大変希少とされています。



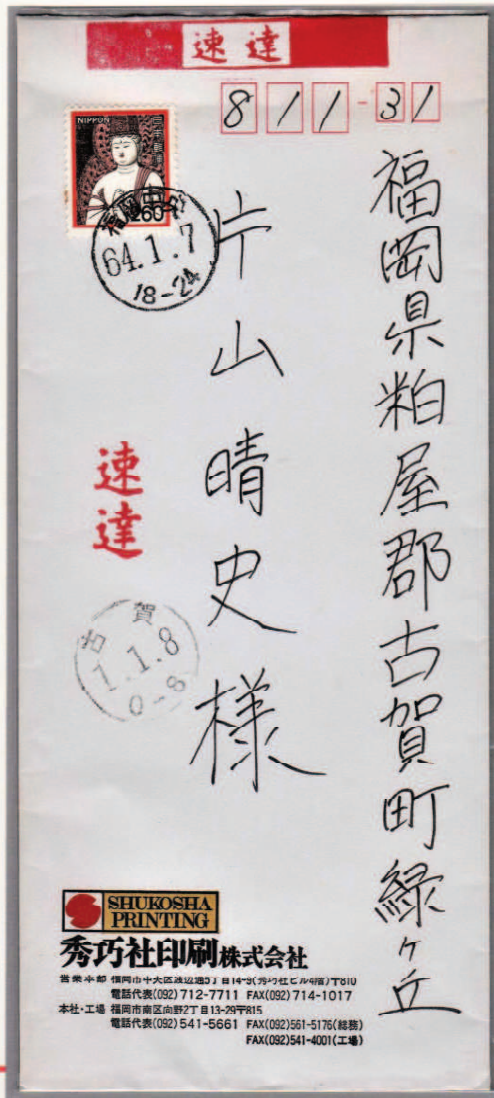
このカバーには普通オンドリ5円切手を加え、額面40円分の切手が貼られています。  
これは国際船便書状20gまでの適正料金となります。

## 1961年東京オリンピック寄付金付実遞カバー (図3)

この寄付金付切手の開催前の実遞使用済みは大変少なく、データのわかる単片使用済みは高い評価が付きまます。このカバーは第1次3種ほか1961年発行切手が貼られ、同年差出しの国際船便書状です。消印がやや不鮮明なのが惜しいところです。

私の珍品コレクション

昭和から平成へ旅した実遞カバー



昭和64年1月7日差出し  
平成元年1月8日着印が  
押された速達実遞カバー

このカバーは宛名が私宛になって  
おり自作の郵趣家便感が満載  
ですが、実際は偶然制作される  
ことになった実遞の速達便なのです。

【経緯】

当時印刷会社へ勤務し、ある企業の  
年史制作を担当していました。

OBに依頼している原稿の入りが予定  
より大幅に遅れたため、プレッシャーを  
かけるため速達便仕様にした返送用  
の封筒を同封し、年内に返送して  
いただく内容の要請文を送りました。

正月中に原稿テキスト変換作業を  
行いましたが、1名原稿の未着が  
ありました。初出勤の日に企業の  
窓口の方に督促電話を入れて  
もらいました。

その結果、自宅に届いたカバーです。  
惜しむらくは、宛名書き作業を託した  
新人の女子社員が返送宛名の私の  
名前に「様」をつけていたことです。

【状態】

差出し、到着両方の消印が鮮明  
だったのはラッキーでした。  
しかも18-24、0-8と真正証明の  
ラスト印とファースト印なのです。

昭和から平成へと旅した実遞カバー (図4)

リーフに経緯を書いているように偶然生じた実遞便です。督促した印刷原稿が送られてきた速達です。発送日が昭和最終日、着信日が平成初日だったので。当時郵便局での記念押印での昭和は12—18、平成は8—12の消印だったはずです。



定形サイズ内カバー最高額面貼り (図5)

電子郵便用の封筒に500円の切手が16枚貼られています。合計8000円です。これ以上の額面が貼られたカバーがあれば拝見させていただきたいと思ひます。



# Hungary

Hungarian folk embroidery series

## ハンガリーの民族アート刺繍シリーズ

1994.9.20 - 1999.4.19

このシリーズは31種、30額面(1~500フォイント)を1994~1999年まで11回に分けて発行されており、さらに額面変更のための加刷切手が存在することから普通切手のロングセットと認識しています。ハンガリー各地の伝統的刺繍を集めたデザインは人気があり、この切手柄を使用した、クッションなど多くのグッズが作られています。



### ハンガリーの刺繍切手シリーズ高額面使用済み (図6)

高額面3種を必死で探しています。そのほか前回の穴あきリーフから進展がないものを今回、再アピールすることになりました。みなさまのご協力をお願いします。